

# 宮崎県在京経営者会議だより

## 第12号

宮崎県在京経営者会議  
発行責任者/高山弘憲  
〒104-0084  
東京都千代田区二番町5-7  
JP本社ビル内  
TEL.03-3265-2911  
FAX.03-3265-1109

### 会長挨拶

宮崎県在京経営者会議

会長 高山弘憲



巻く経営環境ですが、ご高承のようにアベノミクスもいよいよ本番を迎え、第三の矢の成長戦略で大胆な規制改革が問われており、新生日本づくりの転機となることが期待されております。

新しい年を迎え、会員の皆様におかれましてはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

当会は発足後、今年で十六年を迎えます。この間、宮崎産業活性化協会と提携を結び、当初の親睦団体から、宮崎県の観光・物産振興支援にその活動を広げ、地域活性化支援の一翼を担わせていただくとともに、宮崎県の子弟に向けて求人・求職の情報交換や県の伝統文化の紹介普及にも一役買わせていただいております。

さて、今年の私どもを取り

### 知事挨拶

宮崎県知事 河野俊嗣



私も宮崎県在京経営者会議でも、これに応えた地域経済の活性化のために、宮崎県・宮崎大学とともに「宮崎の未来創生コンソーシアム」を設立いたしました。従来の活動に加え、宮崎ブランドを確立し、地域経済の健全な発展に寄与するために産官学の力を結集し、様々な分野での協働を目指すこの事業の積極的推進ができればと願っております。

ふるさと再生は私どもの年の宿願でありますので、知事の方針に沿うべく今後とも支援活動を続けていきたいと考えております。

年頭に当たり、会員の皆様のご健勝とご発展を心より祈念いたしまして、ご挨拶とさせていただきます。

「宮崎県在京経営者会議だより」の発行に当たり、一言御挨拶申し上げます。

宮崎県在京経営者会議におかれましては、設立以来、首都圏における本県出身者への就職支援や物産振興、催事の際の御支援等、ふるさと宮崎との架け橋として多大なるお力添えを賜り、深く感謝申し上げます。

さて、昨年、置県130年の節目を迎えた本県では、一昨年の宮崎牛の日本一2連覇達成に引き続き、高校スポーツ界で快挙が続くなど、私たちに郷土宮崎への誇りや感動、勇気を与える話題が相次ぎました。あたかも「天の岩戸が開き、まばゆい希望の光が差し込んできた」かのような思いがしております。

また、2020年オリンピック・パラリンピックの東京開催は「スポーツランドみやざき」を展開する本県としても、国内

外に宮崎の食、観光、神話など様々な魅力を発信し、その効果を本県の発展に結びつける絶好の機会と考えております。今年、ついに宮崎から延岡を経て、大分県の蒲江まで一本の高速道路でつながり、さらに、来年度には「北九州・宮崎間」が全線開通するなど、まさに「東九州の新时代」を迎えます。また、昨年設置した香港事務所などを拠点に、拡大・発展するアジアとの経済交流が深まりつつあります。本年は、こうした追い風を乗り、本県がこれまで力を注いできた様々な取組の成果を、目に見える形にしながら、さらに大きく飛躍する年にしたいと考えております。

そこで、本県では、平成26年度当初予算の重点施策として3つの柱を掲げました。一つ目は、グローバルな視点を持ち、未来を切り拓くことのできる次世代の育成等を通じて「将来の発展と地域を支える人財づくり」。二つ目は、地域経済・雇用をけん引するフードビジネス等の成長産業の育成加速化や東九州の新たな代を見据え、国内外の活力を取り込む「競争力と成長性のある産業づくり」。三つ目は、南海トラフ巨大地震等に備え

た防災力の強化や減災対策等による「安全・安心で魅力ある地域づくり」です。これらの推進に当たりましては、県民一人ひとりの力の結集が大きな力となります。宮崎県在京経営者会議の皆様におかれましては、引き続き、本県の頼れる応援団として、御理解と御協力をお願い申し上げます。終わりに、宮崎県在京経営者会議のますますの御発展並びに皆様方の御健勝と御活躍を心より祈念申し上げます。御挨拶いたします。

### 活性化協会会長挨拶

宮崎産業活性化協会

会長 羽田正治



新年明けましておめでとうございます。宮崎県在京経営者会議の皆様におかれましては、輝かしい新年をお迎えのことと思います。

さて、我が国経済は、アベノミクス効果による円高是正の動きや株価の上昇が進み、デフレ脱却への期待感や景況感の改善が見られました。また2020年の東京オリンピック・パラリンピックの開催決定など明るい未来に希望が持てる一年でありました。

一方、本県におきましても、一昨年10月の宮崎牛連続日本一

達成に続き、全国高校サッカークラスや夏の高校野球などスポーツ面で活躍、さらに東九州自動車道宮崎〜北九州間の開通が平成26年度に前倒し決定など、観光はじめ様々な業界にとつて飛躍的な進歩を遂げる可能性がある嬉しいニュースが多く出た一年でありました。

宮崎県在京経営者会議の皆様とは10年以上の長きにわたる交流をいたしておりますが、これまで「宮崎の郷土料理と本格焼酎を楽しむ会」を東京において毎年開催いただきまして、宮崎県の物産品の販路拡大のためのビジネスチャンスの場を提供いただくなど、本県の経済発展のために大きなお力添えをいただいております。

また、本県出身の高等学校や専門学校、大学の学生の就職につきましてもお力をいただき大変感謝申し上げます。今後につきましても、私ども宮崎産業活性化協会は、今までも同様に宮崎県在京経営者会議の皆様と一致団結しお互い助け合い、積極的な事業展開を図ることにより、宮崎の活性化に向けて鋭意努力して参りたいと考えております。

最後に参りましたが、宮崎県在京経営者会議の益々の発展と高山会長をはじめ会員の皆様のご活躍、ご健勝を祈念いたしまして新年のあいさついたします。本年も何卒よろしく申し上げます。  
(本原稿は、昨年末にご執筆いただいたものです)

定期総会報告

第15回

定期総会報告

平成25年7月4日(木)、グラウンドアーク半蔵門で、第15回定期総会が開催されました。

高山会長の挨拶の後、総会の議事に入り、議事次第に従い、平成24年度事業報告並びに収支決算承認、平成25年度事業計画並びに収支予算案の各議案とも、いずれも原案通り承認可決されました。

引き続き、懇親会となり、来賓の河野俊嗣宮崎県知事、宮崎市長(代理)、宮崎産業活性化協会の羽田正治会長の挨拶があり、宮崎の経済状況等の報告がありました。

乾杯後は、参加会員相互の交流・情報交換等で、更なる親睦を深め、盛会のうちに閉会となりました。



新会員紹介

東洋大学  
総合情報学部学部長・教授

杉本 富利

●出身地 日南市  
●趣味 ゴルフ、旅行  
●専門 文・理の枠を超えた情報学の構築を目指す学部の学部長として、教職員、学生を先導

歌手

久嶋みさち

●出身地 日南市  
●趣味 散歩  
●専門 音楽、ライブ活動

十勝技術開発(株)  
代表取締役社長

迫 公博

●出身地 都城市  
●事業内容 測量全般、人材派遣

成蹊大学  
教授

近藤 正

●出身地 日南市  
●趣味 連歌、俳諧  
●専門 アメリカの哲学者パース、教育分野 英語

ジャパンプロテクション(株)  
代表取締役社長

高山拓之進

●出身地 東京都  
●事業内容 警備業を軸に施設管理・調査・人材派遣・コンサルティング・防犯防炎の開発・販売、危機管理の研究所など、トータルセキュリティマネジメントサービスを展開

国士舘大学  
理工学部建築学系 非常勤講師(工学博士)

井上 憲司

●出身地 日南市  
●趣味 ドイツ語、水泳  
●専門 都市計画

(株)房舎計画工房  
代表取締役

土田 順一

●出身地 美里町  
●趣味 読書、ゴルフ  
●事業内容 商業施設の企画・設計、施工、住宅設計・施工

(株)有恒  
取締役

原衛 利直

●出身地 宮崎市  
●事業内容 大成実業(株)と(株)ユーコー牧場を子会社とし、グループで所有不動産の管理、投資有価証券の運用、競走馬生産育成、牧場を運営

(株)PIISAコーポレーション  
代表取締役

塩月 善輝

●出身地 延岡市  
●趣味 ゴルフ  
●事業内容 不動産業、収益不動産への投資及び仲介業務

プレイス(株)  
代表取締役

坂元 利彰

●出身地 小林地  
●趣味 ゴルフ  
●事業内容 ソフトウェアの開発及び制作、情報処理に関するソフトウェア及びハードウェアの研究・開発並びに販売、情報処理に関するコンサルティング業務

美カルチャー・ジャパン  
代表取締役

黒木 美香

●出身地 西都市  
●専門 黒木姉妹(歌手)

物産振興部会

「第十二回 宮崎の本格焼酎と郷土料理を楽しむ会」

宮崎県在京経営者会議主催の「第12回 宮崎の本格焼酎と郷土料理を楽しむ会」は、9月6日、東京千代田区九段のホテルグランドパレスで開催されました。

当日は、500人以上が参加、同会の高山会長のあいさつのもと、宮崎産業活性化協会の羽田正治会長、宮崎県酒造組合の渡邊眞一郎会長、宮崎県の河野俊嗣知事がそれぞれあいさつ。乾杯のあいさつのもと、懇談、会食となりました。

会場には、宮崎県商工会議所連合会から協賛・出品頂いた、全国和牛能力共信会で2回連続日本一となった宮崎牛をはじめ、みやざき地頭鶏（じどっこ）のほか、ピーマン、かんしょ、さといも、梨、へべス、ゴーヤなどの宮崎県産の野菜を使った料理が並び、宮崎県酒造組合各社からの本格焼酎とともに参加者は舌鼓を打っていました。

また、今回は、日南市、椎葉村のご協力を頂いたほか、会場横に物販ブース、観光ブースも設置し、宮崎のお土産やおび天の販売、観光パンフレットの配布等も行いました。

会は盛会に終了、参加者は焼酎などのお土産を手にして帰路につきました。



# 第十三回 宮崎観光・ビジネス交流会

第13回宮崎観光・ビジネス交流会は、22名の参加者にて平成25年11月8日(金)から10日(日)の日程で行われました。

11月8日早朝(7時10分)に羽田空港を出発して熊本空港へ降り立った一同は、宮崎交通の貸切バスにて壮大な阿蘇の景色を車窓に眺めて1時間半の道のりを走り、神々の里高千穂に到着いたしました。「天岩戸神社」にて特別参拝のあと、神聖な空気に満ちた岩戸川のほとりを歩いて「天安河原」を訪れ、天照大神が岩戸に隠れた際に八百万の神が集まって相談した、と伝えられる大洞窟で神話の世界をいきいきと伝える神秘的かつ幻想的な雰囲気魅了されました。その後は、こちらも神話の舞台「国見ヶ丘」。残念ながら雲海は見られませんでした。したが、神武天皇の御孫が国見をしたという壮大な眺めを楽しみました。この絶景にミシユランでは星を付けているようですが、高千穂全体がどこにもない魅力に包まれていることを参加者全員が感じられたことと思います。昼食時には興梠副町長ほかの皆様のお出迎えのなか「がまだせ市場」にて町の皆さまとの懇親を兼ねて高千穂牛ランチをいただき、宮崎一の観光地となった高千穂町の取り組みに耳を傾けました。

昼食後は延岡市へ向かい、経産省の近代化産業遺産にも登録されている「旭化成・ベンベルグ工場」の見学を行います。

2日目は延岡から一路椎葉村へ向かうため8時出発という強行軍ではありますが、宮崎交通さんでのご用意くださった「新乗り心地・



たが、昭和6年創業当時から日本の繊維業発展を担った機械の展示や数々の逸話に触れ、近代産業発展の一端をしのぶ意義深い機会をもちました。またその帰路には五ヶ瀬川のほとりにて30年以上の歴史を持つ伝統の「鮎やな」を見学し、伝統と革新・歴史と現代が自然に調和する延岡の魅力を感じました。旭化成工場から10分ほどの愛宕山からはそうした工業施設群や清々しい自然の風景の彼方に広がる日向灘が臨まれ、美しい延岡の俯瞰図が目に焼き付きました。その後に参加した歓迎懇親会では、延岡市長や市議会議長をはじめ商工会議所・観光協会など各種団体の長ほか100人以上の皆様より温かなお気持ちのこもったおもてなしをいただき、故郷の優しさに心打たれる夕べを過ごしました。

宮崎言葉のガイドさん・山道のスペシャリスト(運転手さん)のおかげで快適に長い道のりを行き、10時過ぎには「椎葉平家まつり」開催中の秘境 椎葉村に着きました。この平家まつりの期間中だけは椎葉村も秘境の趣を薄める賑わいを見せ、メイン会場へ向かう道すがら様々な椎葉の特産品や酒肴を売る屋台店がひしめいて人々の往来も盛んです。椎葉村のシンボルともいえる平家まつり期間のただ中であって、この日の昼も村長・議長・教育長ほか多くの行政の皆様が我われ一行を迎え、心のこもったふるさと料理と焼酎で歓迎昼食会を開催くださいました。祭りのメインである大和絵巻武者行列も見学し、鎧兜の勇ましい武者や十二単の姫の雅な色合いと共に、椎葉村の皆様の笑顔が心に沁みたま晴らしい経験でした。

宮崎市まで3時間半の道のりを参加者一同熟睡で充電、恒例の宮崎産業界活性化協会主催の歓迎懇親会に参加いたしました。羽田会長・稲用副知事や戸敷市長など宮崎の行財界の皆様との懇親をいただき、宮崎の伝統に基づいた観光・物産・文化等の振興、経済活性化など当会の目的に向かって一層の努力をしていきたいと強く感じました。

3日目は自由行動となり夕刻に帰京してまいりましたが、ハードスケジュールのなか、今回もそれぞれの訪問地で故郷の皆さまの温かなおもてなしに心癒され、明日への活力をしっかりと蓄えた旅となりました。来年も皆様のご出席をお待ち申し上げます。



# 第14回 求人求職説明会

本年度の「求人求職説明会」は7月12日（金）に六本木のハリウッド大学院大学において開催いたしました。今回は会員企業17社の採用担当の方にご協力をいただき、高校17校・専門学校2校・大学3校の就職指導の先生方と個別ブースにて面談が行われました。宮崎県からは飛田教育長をはじめ学校政策課の中別府主事・宮崎県商工会議所連合会の杉田事務局長、宮崎県・宮崎市の東京事務所長にもご来臨いただき、宮崎の学生に対する皆様の温かなご支援に謝意を頂戴いたしました。

また、説明会終了後には同じくハリウッド大学院大学内の小ホールにて懇親会を開き、より打ち解けた雰囲気の中で学校側と企業側の情報交換が行われました。後日には、ご参加くださった企業・学校の皆様に「この会を契機とした採用活動について」のアンケートにご協力いただいたいておりますが、参考意見の中で「懇親会での和やかな双方向コミュニケーションが大変有意義であった」とのご回答もいただいております。

昨今では学生の地元就職志向が高くなり、また、求人求職に関する様々な情報ツールの圧倒的な増加があり、この会を通じた採用活動そのものは漸次減少してまいりましたが、首都圏で活躍される同郷の先輩との絆を大切にされる気持ちはむしろ大きくなっているように感じしております。当会の活動目的である「宮崎へ

の貢献」のためには人材育成も大変重要な視点であります。こうした会を通じた交流が寄与できるものも少なくないと思います。当求人求職説明会の目的も、現在では採用活動から有意義な情報交換にシフトしつつありますが、時代の変遷に伴い、この会も必要な変化を遂げていきたいと考えています。職場で活躍される企業の皆様から提供される貴重な情報が宮崎の学生に届けられ、進むべき道を選ぶ折々の道しるべになっているとの知らせは大変喜ばしいことではあります。これからも学生たちの将来にとってより確かな道標であるべく、当会も進化していききたいと願う次第です。今後とも会員各位のより一層のご指導ご協力を賜りたくお願い申し上げます。

宮崎県在京経営者会議  
平成25年度「求人・求職説明会」懇親会



# 宮崎の未来創生コンソーシアム

「地域ブランドとしての『宮崎ブランド』の「協創」に向けて」

宮崎県在京経営者会議では、宮崎地域の振興を目的として、平成25年4月1日をもって「宮崎の未来創生コンソーシアム」(代表：高山会長)を発足させました。

本コンソーシアムは、宮崎県・宮崎大学・地元産業界による緊密な連携を礎とした産学官の組織体であり、産学官の参加各セクターとの連携を通じて、『地域ブランドとしての宮崎ブランド』を確立し、宮崎地域振興を図ることを目的としています。

地元をベースに産学官の連携による地域振興策を進めていくプロジェクトとしては、他地域にも例は見られませんが、首都圏在住の同郷財界人のコミュニティーが強いネットワークを持ち、その強みを活かしながら、「首都圏財界」と「地元産学官」によるコンソーシアムを設立したうえで、地元地域振興の取組みを強力に推進するような例は、ほとんど前例がありません。

本コンソーシアムの活動を早期に本格化させることができれば、『地域ブランドとしての宮崎ブランド』の確立と、それによる宮崎地域振興に大きな貢献が期待できます。

『地域ブランドとしての宮崎ブランド』の確立には、宮崎地域の強みである「自然・エコロジー」、「農業」、「食」、「安全・安心」、「癒し」、「歴史」、等々を基礎とする一貫性のあるブランドコンセプト

に基づいて、産業の育成・活性化、企業誘致、人材育成などの活動を行うことが不可欠です。

他の地域でも、様々な形で地域振興の取組が行われていますが、強固な地域ブランドコンセプトに基づいた一貫性のある取組みは少なく、産学官の連携も希薄ななかで、それぞれバラバラに行われているのが実態です。同様の意味において、宮崎でも、これまでは農業団体も含め、産学官の連携と言う意味では、十分でなかったことは否めません。

本コンソーシアムの存在意義は、「産学官」あるいは「地元と在京経営者」といった、各セクターの間に、これまで無かった緊密な連携をもたらす触媒になることにあります。これを確かなものとするため、コンソーシアムの副代表には、宮崎県の稲用副知事、宮崎大学の堀井副学長、そして当会議の熊村副代表という産学官を代表する方々が就き、連携の要となることが期待されています。

本コンソーシアムは、法人格も無い非営利の組織体ですので、それ自体で何ら事業を営むものではありません。各セクターを「つなぐ」触媒として「創発(相乗効果)」を起こすことで、その成果は具現化されるものです。

例えば、宮崎大学の知見を活かした再生可能エネルギーの試験的活用やITを生かした農業等の取り組み等が始まっ

ていますが、これらに対しても、本コンソーシアムが触媒となつて各セクターの連携をより一層促進するなど、幅広い貢献が期待されています。

また、本コンソーシアムでは、直接的なビジネスの成果にとどまらず、「人と情報」をキーワードにした宮崎地域への貢献も企図しています。具体的には、人材教育・人材育成を目的に、企業家や若者に対して情報提供・教育研修・講演などを展開していくことなどが想定されています。

今後できるだけ早い時期に、本コンソーシアムの設立総会を宮崎で開催し、活動を本格化させることが必要です。で、会員の皆さまのご協力・ご支援を宜しくお願い致します。

※平成25年末、当会議は、本コンソーシアムに対する基幹団体として宮崎銀行の「ふるさと振興助成事業」に認定され、平成26年1月27日、平成25年度(第32回)表彰を受け、同銀行地域振興基金からのファン

ド抛(100万円)をいただきました。



宮崎銀行提供

## 平成26年賀詞交歓会

平成26年1月24日、「平成26年賀詞交歓会」が東京千代田区隼町のグランドアーク半蔵門で開かれました。

会長代理の木島博幹事務長の挨拶、河野俊嗣宮崎県知事、宮崎産業活性化協会の羽田正治会長の祝辞のあと乾杯。約100人の出席者が親睦を深めました。



## 編集後記

今号の「宮崎県在京経営者会議だより」は、「宮崎の未来創生コンソーシアム」の宮崎銀行・ふるさと振興助成事業表彰の受賞を待ち、発行致しました。

関係者はじめ、会員の皆様にご迷惑をおかけ致しました。お詫び申し上げます。

暦では、立春を過ぎました。梅、桜の季節の到来です。あと何回、旨い肴と焼酎で花を愛でられるのやら。(河)